

日本地震予知学会 第5回学術講演会

日 時: 2018年(平成30年)

12月25日(火) 9:50-16:55、懇親会(17:10より)

12月26日(水) 9:30-16:30、総会(15:20より)

場 所: 東海大学高輪キャンパス 4201室・4203室

〒108-8619 東京都港区高輪 2-3-23

JR・京浜急行「品川駅」下車、高輪口より徒歩約18分(改札より右方向(田町方面)に進み、「高輪2丁目」交差点を左折)

JR・京浜急行「品川駅」下車、高輪口より都バス「目黒駅行」に乗り「高輪警察署前」下車、徒歩約3分

東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金高輪駅」下車、出口1から左に進み、徒歩約8分
都営地下鉄浅草線「泉岳寺駅」下車、A2出口より徒歩約10分

共 催: 東海大学海洋研究所、関西サイエンスフォーラム



発表講演について:

招待講演: 質疑を含め40分

一般講演: 質疑を含め20分

※ 当日は発表用PCを準備します。パワーポイント等で作成したファイルをUSBメモリなどでお持ちください。またPCの持ち込みも可能です。

参加費: 会員 無料

非会員 3,000円 (2日間有効、予稿集含む)

(参加費は当日現金でお願いします。お釣りの無いようご準備頂ければ幸いです)

懇親会: 12月25日(火) 17時より、高輪キャンパス内食堂にて

参加費(4,000円、学生2,000円)

(懇親会費は講演会受付時に現金でお支払い下さい。)

お釣りの無いようご準備頂ければ幸いです)

ープログラムー

第1日目 12月25日(火) 午前の部 座長:児玉哲哉、神山 眞

- 9:50-10:00 開会挨拶 日本地震予知学会・会長 長尾年恭
- 10:00-10:20 楠城一嘉(静岡県立大):地震のナウキャストニングの研究 … 5
- 10:20-10:40 Weiyun Xie, Katsumi Hattori(千葉大学), Peng Han(Southern University of Sci. and Tech.), Haixia Shi(China Earthquake Networks Center):中国・四川におけるb値の時間変化を用いた前震活動の監視 … 6
- 10:40-11:00
曾谷太洋, 馬場久紀(東海大学), 西宮勇仁(気象研究所), 長尾年恭, 中尾凧佐(東海大学):駿河湾の地震活動に関する研究 -b値による地震発生予測- … 7
- 11:00-11:10 休憩(10分)
- 11:10-11:30
末 芳樹: 2011年東北地方太平洋沖地震発生前の動きと今後の予測 … 9
- 11:30-11:50 井筒 潤(中部大学), 楠城一嘉(静岡県立大学), 鴨川仁(東京学芸大学), 織原義明, 長尾年恭(東海大学):地震災害予測のための地球観測データのデジタルアースへの適用 …11
- 11:50-12:30 織原義明(東海大学):地震予知学が未科学として認められるには(招待講演) …13
- 12:30-13:40 昼休み(70分)

第1日目 12月25日(火) 午後の部1 座長:長尾年恭、服部克巳

- 13:40-14:20 岩田大地, 長濱裕幸, 武藤潤(東北大学), 安岡由美(神戸薬科大学):地震に先行する大気中ラドン濃度変動:特異スペクトル変換法による異常検知法(招待講演) …17
- 14:20-14:40 梅野 健(京都大学):M6クラスの内陸地震の地震先行現象の検出について -2016年台湾南部地震の結果と考察- …21
- 14:40-15:00 神山 眞, 小出英夫(東北工業大学), 沢田康次(東北大学), 秋田 宏, 千葉則行(東北工業大学):地殻ひずみの時系列変動にみられる 2016年熊本地震の発生予兆 …25
- 15:00-15:20 Shih-Sian Yang, Tomokazu Asano, Masashi Hayakawa (HiSEM): Abnormal Gravity Wave Activity in the Stratosphere Prior to the 2016 Kumamoto Earthquakes. …29

15:20–15:35 休憩(15分)

第1日目 12月25日(火) 午後の部2 座長:古宇田亮一、本島邦行

- 15:35–15:55 齊藤好晴(NPO 法人環境防災技術研究所):2018/06/18 大阪府北部
震度6弱 M6.1とAM放送波活用電離層擾乱観測による事前予測 ……30
- 15:55–16:15 Shekotov, A. (IPE, RAS), J. Izutsu (Chubu Univ.), T. Asano (Hi-
SEM), S. M. Potirakis (Piraeus Univ.) , M. Hayakawa (Hi-SEM):
Electromagnetic Precursors to the 2016 Kumamoto Earthquakes. ……34
- 16:15–16:35 小林孝央, 本島邦行(群馬大学):GPS波観測データを用いた地震発生
時における電離層電子密度観測 ……35
- 16:35–16:55 小倉佑哉, 本島邦行(群馬大学):気象現象による影響を考慮した見通し
内 VHF 帯放送波の伝搬異常と地震の関連性解析 ……39

17:10より懇親会

2日目 12月26日(水) 午前の部 座長:児玉哲哉、早川正士

- 9:30– 9:50 橋本 哲(元大阪府立大学):地震発生時系列に出現する規則性につい
て ……43
- 9:50–10:10 山口弘輝(富士防災警備):月齢と地震発生についての調査研究
……45
- 10:10–10:30 荻原洋聡(エヌ・ワイ・ケイ), 佐藤紘志(防衛大学校):地震発生過程と落
雷発生過程の類似性をイメージした統合・複層データ可視化による日本全国の地震発
生状況把握方法の一提案 ……47
- 10:30–10:50 吉里光喜, 安納住子(芝浦工業大学):Twitter のつぶやきデータおよび
機械学習による地震予測の可能性について ……51
- 10:50–11:10 三神 厚(東海大学), 神山 眞(東北工業大学) 地殻変動データから算
出されるひずみ時系列に機械学習の手法を適用した地震予測の試み ……52
- 11:10–11:20 休憩(10分)
- 11:20–11:40 小島春奈, 大村潤平, 吉野千恵, 服部克巳(千葉大学), 下道國(藤田
保健衛生大学), 小西敏春(応用光研工業), 古屋隆一(コムシステム):房総・旭観測
点における大気電場、大気イオン濃度、ラドン濃度パラメータの変動と地震との関連に
ついての観測学的検証 ……56
- 11:40–12:20 野田洋一(テラテクニカ):ナマズと地震について(招待講演) ……58
- 12:20–13:30 昼休み(70分)

2日目 12月26日(水) 午後の部 座長:藤縄幸雄、服部克巳

- 13:30–13:50 長尾年恭, 齋藤愛理(東海大学), 井筒 潤(中部大学), 鴨川 仁(東京学芸大学), 織原義明(東海大学), 杉浦繁貴, 近藤 斎(コンポン研究所): VLF 帯パルス電磁波観測による短期・直前予測の研究 —震央から観測されたと考えられる電磁波の予察的解析— …62
- 13:50–14:10 齊藤 央, 吉野千恵, 服部克巳(千葉大学): イオノズンデータを用いた日本上空における地震先行電離圏異常の統計解析 …63
- 14:10–14:30 Hattori, K., S. Hirooka, M. Yagmur, S. Saito, C. Yoshino (Chiba Univ.), J. Y. Liu (National Central Univ.): Spatial and Temporal Characteristics of the Pre-Seismic Ionospheric Anomaly and Post Solar-Terrestrial Event over Japan. …65
- 14:30–14:50 Oyama K. (Kyushu Univ.), Y. Kakinami (Hokkaido Information Tech. Univ.): Electric Field in the Ionosphere over the Epicenter prior to two large Earthquakes -Analysis of satellite data acquired with Dynamic Explorer -2- …66
- 14:50–15:10 織原義明(東海大学): 2011年東北地方太平洋沖地震前の地下水異常調査 …67
- 15:10–15:20 休憩(10分)
- 15:20–16:20 総会
- 16:20–16:30 閉会の挨拶